

銅山だより

No. 61

発行 平成21年9月
国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所
銅山川砂防出張所



現在施工中及び契約予定の工事紹介

○角川流域鹿の入沢第四砂防えん堤導流工工事 (8月末の状況)

昨年度までに本えん堤や副えん堤が完成した鹿の入沢第四砂防えん堤の一連の施設として直下流に導流工の工事を施工しています。



○銅山川流域赤砂第八砂防えん堤工事 (写真は8月末の状況)

赤砂川上流部の大規模地すべり性崩壊地(昭和51年発生)の脚部保護及び流出土砂の調整(下流部の土石流の危険度を低下させる)を目的とした砂防えん堤の建設工事を施工中です。主えん堤のほか、副えん堤の工事も進んでいます。



☆その他の工事☆

○銅山川流域横道沢第五砂防えん堤改築工事

横道沢において既存の砂防えん堤を改築し、完成後に堆積する土砂による横道沢地区の地すべり活動抑止効果を期待すると共に流出土砂の調整効果をさらに高める工事を施工中です。

○豊牧地すべり豊牧地区集水井工事

豊牧地区において地すべりの発生を抑制するための集水井工事をまもなく本格的に施工していきます。

○豊牧地すべり小坂野地区集水工工事

小坂野地区の老朽化した集水井の集水管をリフレッシュする工事等を行う予定です。

○豊牧地すべり豊牧地区水路工工事

豊牧地すべりの老朽化した排水側溝をリフレッシュする工事を行う予定です。



土石流被害を軽減した

砂防えん堤の効果!!

報道等でもご存知のとおり、去る7月21日に豪雨により山口県で土石流59件、がけくずれ100件という多数の死傷者が出る痛ましい土砂災害がありました。

しかしながら、下記写真の剣川などの砂防えん堤が設置されていた溪流では、土砂補足、調節効果が一定程度確認され被害を軽減していることが確認されています。したがって、砂防えん堤が無ければ、被害がさらに拡大したと予想されます。

土石流発生後の写真：平成21年7月23日撮影
(国土技術政策総合研究所HPより)

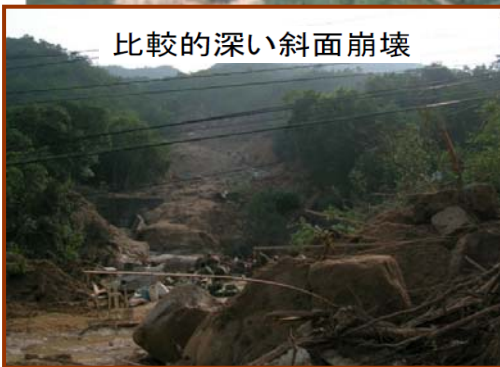
剣川の土砂の堆積状況



剣川下流の土砂の流出状況



比較的深い斜面崩壊



砂防えん堤により土石流を捕捉、調節していることがわかる。

剣川下流の細粒土砂に埋まった家



お問い合わせ先

新庄河川事務所 銅山川砂防出張所
〒996-0212 最上郡大蔵村大字清水字堀川 2346
(TEL) 0233-75-2204
(FAX) 0233-75-2226
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou>

「銅山だより」に関するご意見や出張所の仕事に関する質問などをお待ちしています。お気軽にご連絡下さい!